

第110回 島田大祭 来場者アンケート調査の結果公表

～ 一般来場者の市内消費額 約5.2億円、1日あたりでは年間平均の8倍以上 ～

島田市と公益財団法人するが企画観光局(地域連携DMO)は、令和4年10月8日(土)～10日(月・祝)に開催された「第110回 島田大祭(帯祭り)」で一般来場者へのアンケート調査を初めて実施した。

調査の結果、島田市内では通常時と比べて大きな消費が生み出されていることが確認された一方、開催効果のさらなる拡大の可能性とそれに向けた課題も明らかになった。(詳細は別添報告書を参照)

1. 調査結果の概要

- ✓ 島田大祭の期間中、一般来場者の市内消費額は約5.2億円※となった。
※来場者数25万人(主催者発表)、アンケート調査の属性割合と消費額からするが企画観光局が簡易推計
- ✓ 来場者の居住地別割合は、県内客91.5%、うち島田市民が32.4%を占めた。県外客は8.5%、うち関東地方の4.6%が最も多かった。
- ✓ 同じく行程別割合では、日帰り91.5%、宿泊8.5%、うち島田市内の宿泊施設の利用は1.5%。なお、島田市内の主な宿泊施設における10/8(土)、9(日)の客室稼働率は9割超となった。
- ✓ 1人あたりの市内消費額は、日帰り客1,854円、宿泊客(市内宿泊施設の利用なし)3,121円、宿泊客(市内宿泊施設を利用)12,278円となった。

区分		全体人数 A	割合 B	人数 C=A×B	単価 D	計 =C×D
日帰り	県内	250,000	88.7%	221,691	1,842	408,411,416
	県外		2.9%	7,177	2,211	15,869,219
宿泊 (市内宿泊施設の利用なし)	県内		2.4%	5,981	1,594	9,533,936
	県外		4.6%	11,563	3,911	45,221,956
宿泊 (市内宿泊施設を利用)	県内		0.5%	1,196	13,000	15,550,239
	県外		1.0%	2,392	11,917	28,508,772
合計						523,095,537

2. 次回以降に向けた課題と可能性

- 宿泊客の増加に向けては、島田市内の宿泊施設は期間中の客室稼働率が9割超のため、周辺市町の宿泊施設との連携も必要。
- 日帰り客の増加に向けては、まずは一般来場者の86.3%を占める「県中部」「県西部」など近隣地域からの着実な誘客が必要。近隣ほど同行者の人数が多く、効果も現れやすい可能性。
- 市内の受入環境については、夜間帯の魅力発信強化など「滞在時間の延長」、限定商品の開発・情報発信など「消費単価の向上」により、市内消費額はさらに拡大する可能性がある。また、一般来場者の推奨度(満足度)は、消費額や市内周遊などとの相関関係が認められることから、大名行列や屋台などの運行状況に関するリアルタイムでの情報発信など一般来場者から寄せられた意見・改善事項への対応も必要。

【島田大祭に関すること】

島田市観光課 曾根
TEL : 0547-36-7399
MAIL : kankou@city.shimada.le.jp

【アンケート調査、データに関すること】

するが企画観光局 調査戦略室 鈴木
TEL : 054-204-6677
MAIL : s-suzuki@suruga-mtb.or.jp